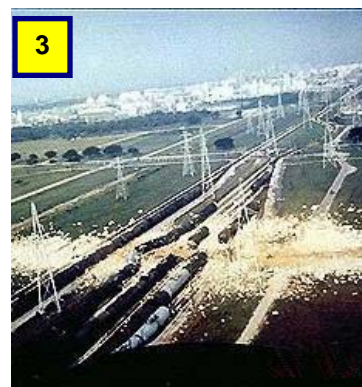
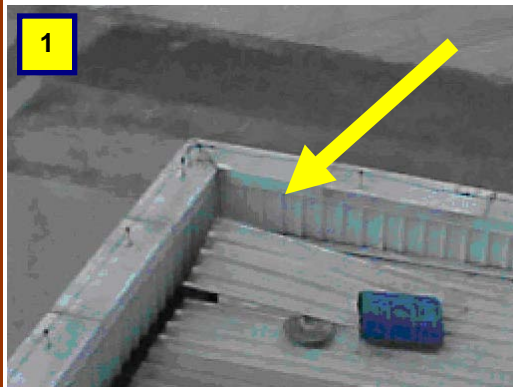


危険性物質の貯蔵と出荷

2010年10月



プラントでは誰もが安全にものを製造するために一生懸命努力しているが、それだけでは、プロセス安全をなしとげたということにはならない！ あなた方は生産された製品、副生物や危険な廃棄物をどのように貯蔵しているだろうか？ あなた方はそれらをどのように顧客や廃棄物処理施設に運んでいるだろうか？ それでもなお、ものごとは悪い方へと進むかもしれない—写真はいくつかの例を示している。

1—倉庫に貯蔵されたドラムに入った危険な廃棄物が禁忌物質に汚染されて反応した。ドラムは爆発し倉庫の屋根(矢印)を突き抜けて屋根の上まで飛んだ。

2—可燃性物質の入ったISOコンテナが漏れ、路上輸送中に着火した。

3—間違ったライニングがされた鉄道用タンク車に反応性のモノマーが入れられ、タンクの鉄分で汚染され、重合し、タンクの爆発に至った。

4—不適切に荷詰めされた使用済みのリチウム電池が廃棄施設へ運搬中に着火した。



あなたにできること

- ・小さなサンプル用広口瓶から鉄道用タンク車やそのほかの大型容器にいたるまで全ての容器について、中に何が入っているかわかるようにはっきりと表示されていることを確認すること。
- ・実験室やプラントの廃棄物容器には、同じ容器の中に何が廃棄でき、何ができないか、を明示すること。
- ・包装された廃棄物をあなたの現場に所定の期間以上貯蔵することを許さないこと。
- ・ある物質を出荷しようとする時には、安全に出荷するための全ての必要事項(適切な容器、包装、表示、送り状およびその他必要なもの全て)を理解していることを確認すること。
- ・容器に危険性物質を充填する前に容器を検査すること。漏れがありそうな部分を探すこと。
- ・倉庫や他の貯蔵場所での物質の安全な貯蔵のための必要事項を知っておき、それに従うこと。
- ・送り状や容器表示および容器の損傷や漏れに対する対処法を含め、危険性物質を受け取る場合の現場受入手順に従うこと。
- ・作業の途中で現場のどこでも損傷した容器を発見したら、対応処置が取られるよう直ちに報告すること。

危険性物質は安全に貯蔵し出荷すること！